

令和4年度 第7回県政モニターアンケート調査結果

農政課かごしまの食ブランド推進室(099-286-3179)

- テーマ 「県産農畜産物の認知度」について
- 調査の目的 県産農畜産物の今後のPR対策などの参考とする。
- 調査時期 令和4年11月
- 調査対象者 200人
- 回答者数 138人(69%)

問1 日頃、県産の農畜産物を購入しますか。

項目	回答数	割合
よく購入する	68	49%
毎回ではないが購入する	67	49%
ほとんど購入しない	3	2%

【コメント】

県産の農畜産物を日頃から購入する方は、全体の98%とほとんどの方が日常的に購入されています。

【回答者数:138人】

問2 購入する県産農畜産物の種類は何ですか。(頻度の高いものを2つ選択)

項目	回答数	割合
野菜や果物などの青果物	105	77%
豚肉や牛肉などの畜産物	98	72%
米	37	27%
お茶	30	22%

【コメント】

県産の農畜産物で購入頻度の高い種類は、「野菜や果物などの青果物」や「豚肉や牛肉などの畜産物」の割合が高く、「お茶」や「米」が低い傾向にあります。

【回答者数:136人】

問3 県産農畜産物を購入する際どこで購入しますか。購入頻度の高い順に番号を記入してください。

購入先	回答数	割合	購入頻度の高い順					
			1位	2位	3位	4位	5位	6位
スーパーなど量販店	131	97%	84%	13%	3%	2%	0%	0%
直売所	104	77%	13%	61%	14%	5%	0%	5%
フェアなどのイベント	80	59%	1%	9%	51%	32%	11%	2%
コンビニエンスストア	63	47%	1%	3%	8%	27%	40%	23%
通信販売	59	44%	0%	4%	20%	27%	33%	18%
その他	54	40%	1%	10%	5%	8%	16%	52%

【コメント】

県産農畜産物の購入先として最も多いのは「スーパーなどの量販店」で、次いで「直売所」、「フェアなどのイベント」の順となっています。

【回答者数:135人】

問4 県産農畜産物を購入しない主な理由は何ですか。

項目	回答数	割合
産地等にあまり関心がない	3	100%
購入したいが見かけない	0	0%
好きな産地等が別にある	0	0%
味や品質, 価格等に魅力がない	0	0%
その他	0	0%

【コメント】

県産農畜産物をほとんど購入しない方の主な理由については、「産地等に興味がない」でした。

なお、「購入したいが見かけない」、「好きな産地等が別にある」、「味や品質, 価格等に魅力がない」への回答はありませんでした。

【回答者数:3人】

問5 農畜産物を購入するときの判断基準は何ですか。(複数回答)

項目	回答数	割合
鮮度が良い	113	82%
安心・安全である	104	75%
地元産である	101	73%
国産品である(輸入品でない)	97	70%
味が良い	71	51%
産地や生産者の情報が表示されている	64	46%
値頃感がある	61	44%
見た目(色, 形等)が良い	46	33%
栽培方法(有機農法等)にこだわっている	38	28%
ブランド・有名産地である	29	21%
品種にこだわっている	24	17%
その他	2	1%

【コメント】

農産物を購入する際の判断基準については、「鮮度が良い」、「安心・安全である」が約8割で、次いで、「地元産である」、「国産品である(輸入品でない)」、「味が良い」の順でした。

【回答者数:138人】

問6 農畜産物を購入するきっかけとなる情報はどこから取得されますか。(よく利用するものを3つ選択)

項目	回答数	割合
店頭	100	72%
チラシ	76	55%
テレビ	43	31%
新聞	32	23%
口コミ	19	14%
インターネット	13	9%
SNS	8	6%
ラジオ	5	4%
雑誌	4	3%
かごしまの食ウェブサイト	3	2%
その他	2	1%

【コメント】

農産物を購入するきっかけとなる情報の取得については、店頭が約7割と最も多く、次いでチラシ、テレビ、新聞、口コミの順でした。

【回答者数:138人】

問7 このマークを知っていますか。

項目	回答数	割合
はい	83	60%
いいえ	55	40%



【コメント】
「かごしまブランドマーク」を知っている方は、
全体の6割となっています。
【回答者数:138人】

問8 かごしまブランド産品に対するイメージで、当てはまるものを選んでください。(複数回答)

項目	回答数	割合
安心・安全	119	87%
味が良い	88	64%
値頃感がある	43	31%
高級	25	18%
よく知らない	8	6%
その他	5	4%
品質が良くない	3	2%
味が良くない	1	1%

【コメント】
かごしまブランド産品に対するイメージにつ
いては、「安心・安全」が約9割、「味が良い」
が約6割、次いで、「値頃感がある」、「高級」
という結果となりました。
【回答者数:137人】

問9 かごしまブランド産品で、最も多く購入するものは何ですか。(3品を自由回答)

品目	回答数	割合
黒豚	58	43%
さつまいも	43	32%
黒牛	35	26%
米	34	25%
茶	31	23%
地鶏	20	15%
オクラ	16	12%
ピーマン	14	10%
きゅうり	9	7%
ばれいしょ	7	5%
かぼちゃ	6	4%
こまつな	6	4%
いちご	5	4%
きんかん	5	4%
そらまめ	4	3%
たんかん	4	3%

【コメント】
かごしまブランド産品で最も多く購入するもの
の上位5は、「黒豚」、「さつまいも」、「黒牛」、「米」、
「茶」という結果になりました。
【回答者数:135人】

※回答数上位16位以上の品目のみ掲載

問10 かごしまブランド産品を、より多くの消費者等に「知って」「選んで」「購入してもらう」ために、県はどのような取組が必要だと思いますか。(自由回答)

- 鹿児島県出身で全国に住んでいる人々に鹿児島県産品の理解をしてもらう為に、地域の新聞や報道機関に月に一度で良いですから目立つ報道をしてみたら良いと思います。
- 店頭でのデモンストレーション(無料配布はさばけても購入する気持ちには直結しないかも)、サウンドロゴの活用、「一度試してみたい」と思わせる量や価格の設定。
- 市電の広告で周知する。
- デパートやスーパーなど、多くの人々が利用する店舗での試食宣伝販売や、生産者の方々との交流などの取り組み。
- かごしまブランド産品は、高品質だと思います。(購入する時の安心感があります)まだまだ意味を知らない方々も多いような…。(シールは見た事あるが意味までは知らない)。新聞、広告、メディアでの宣伝不足もあると思います。「〇月〇日は、かごしまブランドの日」と言うようなお知らせもいいような…。「この日はブランド品を食べましょう」みたいな宣伝もおもしろいと思います。
- 鹿児島の美味しいもの、鹿児島産の食材を使った加工品、産地の宣伝をもっと全国に向けて、世界に向けてPRし続けることが大切だと思います。他県でもすでに有名なものが鹿児島にもある、鹿児島県産の方がもっとおいしい、優れた商品があるのに、と思うこともあるので、もったいない！と思います。鹿児島県出身の有名人にも一緒にPRしてもらう等、工夫次第で、知ってもらい、来てもらって、買ってもらうってリピートしてもらえんと思います。
- かごしまブランド産品が買えたり、食べたりすることができる店にステッカーなどの表示を行い、インターネットでお店を検索できるようにする。
- スーパーでのキャンペーンや飲食店とのコラボをする。
- 計画的、安定的という基準により他の美味しい物との差が消費者に理解しにくくなっている。
- テレビ新聞等でかごしまブランド産品の紹介、購入できる店、美味しい食べ方等をもっとPRする取組が必要だと思います。
- キャンペーンの実施(季節ごとにスーパーなどで)、県政かわら版でのPR(県内全戸配布するから)、スーパーなどでの掲示板でのPR
- ブランド産品に指定されていること及びその表示を店頭で見かけることが極端に少ない。(見かけない。気がつかない)
- スーパーで特設コーナーを作るなどし、他の産地との差別化をする。ほとんどのスーパーでは品種ごとで、産地に関係なく陳列されているような気がする。
- 県民が喜んで購入できることが一番かと思います。かごしまブランドフェスなどでどんな食べ方や料理に合うかを定期的実施したらいかがかと思います。専門店だけでなく、新しいレシピコンテストなど県民も参加できるものが盛り上がるのではないのでしょうか。
- 「かごしまブランド産品ポイント」を貯められる携帯アプリを開発し、所有ポイントに応じて希望の特産品と交換できる仕組みを作る。
- インターネットでもお得に安く購入できること。送料無料など。
- 広告に力をいれるべきパッケージに工夫を。
- 贈答用に使えるようかごしまブランド産品をパックにした商品を販売する。
- 農林水産まつり等を、季節毎にイベントを開催すると良い。
- テレビなどで生産者がオススメとする料理法などを見ると美味しそうに感じやすいのと、生産者のこだわりや愛情が見えてより良くイメージを持てるので、物だけでなく地元や生産者の温かさを含めてPRすると、田舎ならではの良さが伝わると思います。
- 店頭での表示をわかりやすく、目立つようにすることが一番。県外の場合は、低価格をカラフルな文字や絵で興味を引いている。
- もっとテレビやインターネットで宣伝してください、何処でどのような手段で購入できるかなど、簡単に購入できるように、県民や全国の消費者に知らせて欲しい
- 単品PRだけでなく他の食材との組合せとして打ち出しPR。
- 店頭ポスターにてPRする。かごしまブランド産品を掲載したパンフレットの配布など。
- ネット購入を促進するイベントは利用しやすいと思います。安く購入できたり、購入後にアンケート回答者に次回購入割引券等の特典をつけるなどで、利用したいと思える取り組みは良いと思います。
- 生産者の声が一般の方に届けば思いも伝わるので、生産者の特集を夜の番組でも観ることができれば。また、番組内での地元出身タレント出演で興味を持ってもらえる。
- 安心・安全で味がよい等をもっと広報する。料理法の紹介。
- ブランドマークをブランド産品に目立つように表示するとかしたら消費者ももっとわかりやすく購入しやすくなると思います。

○生産者の顔が見えない。ブランドだから売れるのではなく、一人一人の生産者の顔をのせて責任を持たせ、安全安心であることをアピールしてほしい。

○かごしまブランドを手にする機会を増やす為に、県民が普段使いしているスーパー等でブランド製品のPR活動をされてはいかがでしょう？ イベントやセミナーでの広報もありかとは思いますが。福岡市の話にはなりますが、福岡市役所前に大きな広場があり、そこで県産品のイベントをされていた記憶があります。市役所が天神という立地なので、集客数はかなりあったかと思えます。大規模に定期的にマルシェ風を開催するとより多くの方に認知されるのではないのでしょうか？

○安全性のアピール。その為、具体的な栽培方法の動画配信のCM放送を全国的に行う。また、同時に独特なレシピもタレントや料理人に実演して貰い、それも放送する。

○生産者と消費者が、触れ合えるイベントの開催を増やしてほしい。県都だけでなく、県民が会場に足を運びやすい地域開催が増えればありがたい。

○県の情報誌、パンフレット(新聞の利用も考えては)に、地元の食材を使用したレシピ等をもっと掲載してはどうでしょうか。旬の食材の案内、旬の食材を撮ることの重要性をもっとPRしてはどうでしょうか。

○もっと全国的にPR活動を展開すべき。さらに世界へ和牛をPRすべきだと思います。

○東京・大阪などの県人会で販売会を催す。各種イベントで試食会と販売会を催す。

○スーパー等と協同で、かごしまブランド産品コーナーを設置して県民に購入してもらう。

○ブランドマークを知っている人が少ない気がします。道の駅のような物産館だけでなく、身近なスーパー等で宣伝・広報するのが良いと思います。また、私は島に住んでいて、スーパーや商店などが近くに無い住環境にあり、普段の買い物は生協コープのような通販に頼っています。忙しい人やネット環境の普及により通販で買物を済ませる方も多いので、いろんな通販対応している店舗と協力して、特集(かごしまフェアみたいな)企画などで知名度をあげていったら良いと思います。

○今でも十分知られてるとは思いますが、東京や大阪、福岡など、都市部での販売を生産者自ら、店頭に立ってされるのがいいのかなと思います。

○地元のブランド産品はよく知っているが、他の地域の物は知らない消費者が多い。しかし、黒牛、黒豚、地鶏等はよく知っています。やはりPRですかね。特に黒牛は今年TV等でも頻繁に出ましたので皆よくわかってます。多くの人たちに知っていただくためには宣伝効果なのでしょうかね。年寄りにもわかりやすいような工夫をして。

○ブランド産品には(大将季、桜島小みかんのように)すべて名前をつけてあげないと差別化もできないし、愛着もわかない。お歳暮やお土産にも贈りにくいと思います。

○和牛オリンピックのような品評会での実績を広報し続けることが重要だと思います。

○海外輸出と高級志向

○コマーシャル、産地訪問収穫祭テレビ